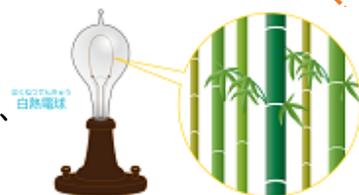




10月も後半になりました。外からの風に乗って、皆さんの歌声も図書室で聞こえることが増え、心地よい時間が流れています。読書をするにも最適な季節なので、ぜひ来てください。

## 10月21日 あかいの日

1879（明治12）年のこの日、エジソンが京都産の竹をフィラメントに使用して、白熱電球白熱電球を完成させたことを記念して制定されました。



💡『明かりのひみつ 電気がいちばんわかる本①』 米村でんじろう：監修

私達の生活に当たり前のようにある明かり。家庭用はもちろん、町の中の建物や場所を照らす役目もあります。歴史やしぐみについて、明かりには欠かせない電池や電気、電流についてのわかりやすい解説も載っています。エジソンが発明した電球の作り方もあり、実際に作って実験してみることもできます。

💡『コミック版 世界の伝記 エジソン』 吉田健二：漫画 前島正裕：監修

エジソンは小さい頃から実験が大好きで、自宅の地下室を実験室にするほどでした。白熱電球の研究は、長時間耐えられるフィラメントを探すため何千回もの実験を繰り返し、一年以上かかったそうです。

ちなみにアメリカでは、10月21日は「エジソンの日」としています。

💡『星新一 ショートショートセレクション ピーターパンの島より 子供の部屋』 星新一：著

引っ越した友人を訪ね、二人で飲んでいたら眠くなり、子供部屋を借りることにします。首筋に冷たさを感じ、電気スタンドをつけますが、誰もいません。電気を消すと、そこに現れたのは・・・。



### 10月の紹介本は4類です。

㊦ 411 『頭が良くなるインド式計算ドリル』 遠藤昭則：著

インド人は、計算が早くしかも正確だという話を聞いたことがありますか？ 苦手になってしまう原因を減らせる、夢のようなインド式計算方法を、皆さんも手に入れてみましょう。

㊦ 449 『WHAT TIME IS IT? 時間』 A・G・スミス：著 渡会和子：訳

太古の時代は、自然の変化で時を計っていました。そこから暦や曜日を作り、時を刻むようになり、自然を使った時計から機械時計へと発展していきます。人間と時間の歴史がわかる本です。



㊦ 480 『ぼくの村がゾウに襲われるわけ。野生動物と共存するってどんなこと？』 岩井雪乃：著

保護動物であるゾウに襲われるタンザニアの村。傷つけることは許されないゾウから、どんな方法で作物を守り、共存する道を見つけたのでしょうか。



この本、読んでみませんか？ （後期図書委員長 美風さんおすすめ）

『クドリヤフカの順番』 米澤穂信：作

文化祭に出品する文集を作りすぎてしまった古典部の部員達。どうやって全てを売り切るか頭を悩ませます。そんな中、文化祭では奇妙な連続盗難事件が発生します。「この事件を解決して、古典部への知名度を上げれば、文集を完売できるかも！」と考えた主人公の折木奉太郎は、犯人とその目的を推理します。

少し笑えるシーンもあって、読んでいて飽きません。この本は古典部シリーズの第三弾で、一作目の「氷菓」には、文集の秘密も書かれているので、そちらも一緒に読んでみてください。